

令和7年度 高冷地水稻生育速報(第4報)

岐阜県中山間農業研究所

1. 生育概況(7月15日調査)

調査日	年度	草 丈		茎 数		葉 色				葉 齢	幼穂長 (cm)	
		(cm)		(本/㎡)		葉色板		SPAD値				
たかやまもち	本年	80.4	(109%)	468	(94%)	5.0	(+0.1)	44.0	(+1.4)	11.9	(-0.0)	14～18cm
	前年	76.6		455		4.4		42.7		12.0		
	平年	73.8		497		4.9		42.5		11.9		
あきたこまち	本年	82.5	(113%)	451	(92%)	4.9	(-0.0)	43.9	(+0.6)	11.1	(-0.9)	14～20cm
	前年	77.2		484		4.3		41.9		12.0		
	平年	73.1		489		4.9		43.3		12.0		
ひだほまれ	本年	82.3	(105%)	273	(70%)	4.9	(+0.3)	42.1	(+1.3)	11.9	(-0.2)	4～6cm
	前年	87.8		349		5.1		47.2		12.6		
	平年	78.5		390		4.6		40.8		12.0		
ひとめぼれ	本年	81.3	(113%)	491	(85%)	4.7	(-0.0)	41.4	(+1.1)	11.3	(-0.3)	2～4cm
	前年	73.1		502		4.8		45.7		12.4		
	平年	71.8		577		4.7		40.3		11.6		
コシヒカリ	本年	80.2	(103%)	488	(88%)	5.0	(+0.5)	41.7	(+1.5)	11.4	(-0.2)	2～4cm
	前年	84.1		440		4.5		45.3		12.2		
	平年	77.6		555		4.5		40.2		11.6		

栽培条件: 移植5月15日 栽植密度22.2株/㎡ 1株4本稚苗移植 基肥N=0.5kg/a 穂肥N=0.3kg/a

平 年 値 : 過去5年間(R2年~R6年)の平均値

()内の数値は対平年値

2. 気象状況と当面の管理

1) 気象概況

7月上旬の平均気温は平年より高く、日照時間は平年より多かった。

2) 生育概況

生育は平年と比較して、草丈は高く、茎数は平年より少ない。葉色値は平年より高く、葉齢は平年よりやや遅れている。

「コシヒカリ」は7月11日に幼穂1cm程度となり、出穂は7月29日~8月1日頃となる見込みである。「コシヒカリ」の平年の出穂期は8月2日で、今年度出穂は平年より早いと考えられる。

3) 病虫害等の発生状況

イネドロオイムシの発生がみられる。

4) 今後の管理

穂肥施用は出穂の18日前の幼穂1cm時(たかやまもちは21日前)を目安に行う。当所においては下記のような穂肥施用を行った。

「たかやまもち」 7/3 (出穂予測: 7/22~24頃 平年: 7/23)
「あきたこまち」 7/7 (出穂予測: 7/21~24頃 平年: 7/25)
「ひだほまれ」 7/10 (出穂予測: 7/28~30頃 平年: 7/29)
「ひとめぼれ」 7/11 (出穂予測: 7/29~8/1頃 平年: 7/30)
「コシヒカリ」 7/11 (出穂予測: 7/29~8/1頃 平年: 8/2)

令和7年(2025年)の気象図

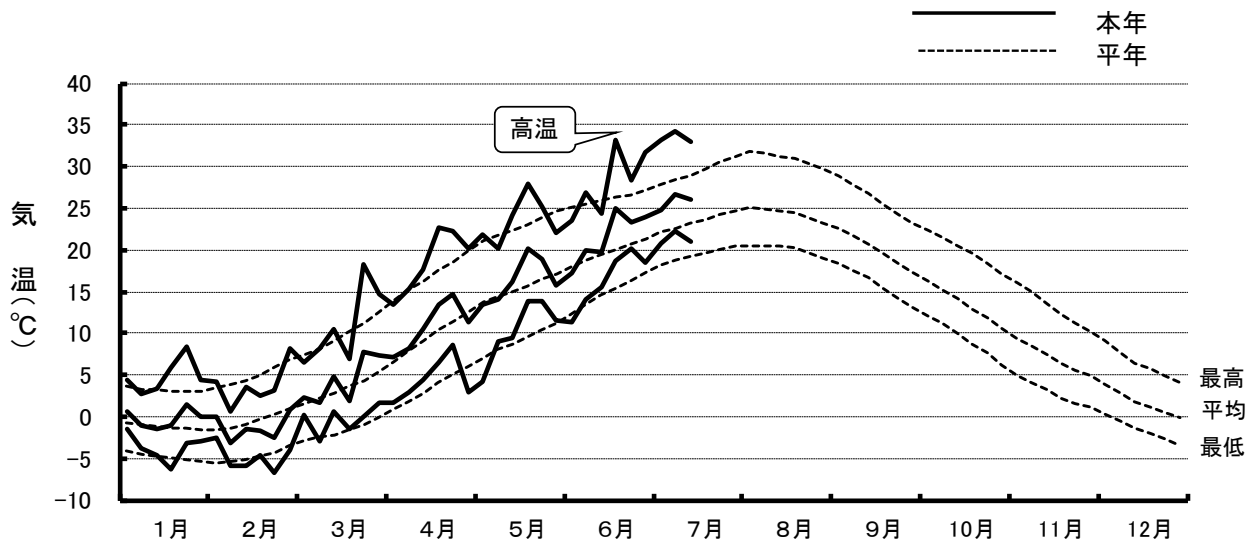


図1 本年度の半旬別気温の推移(高山市)

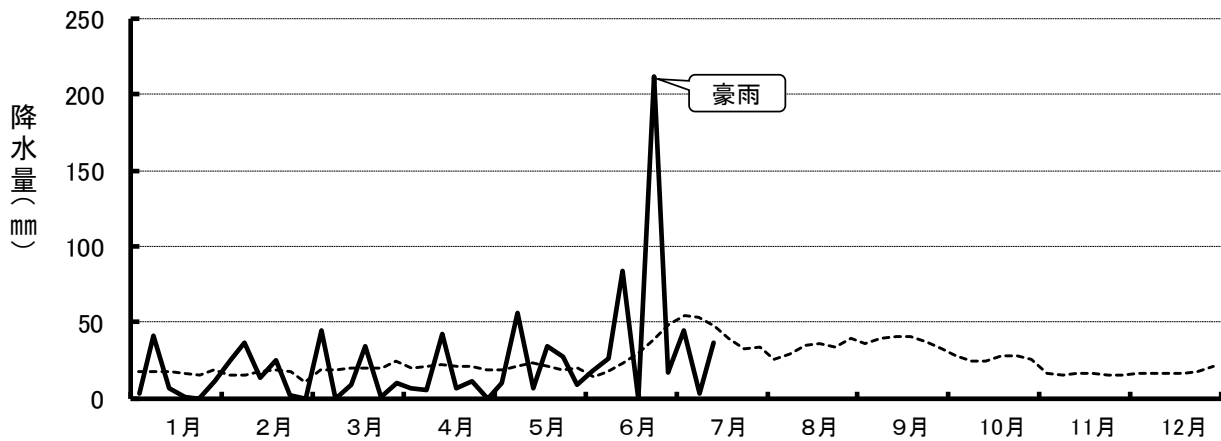


図2 本年度の半旬別降水量の推移(高山市)

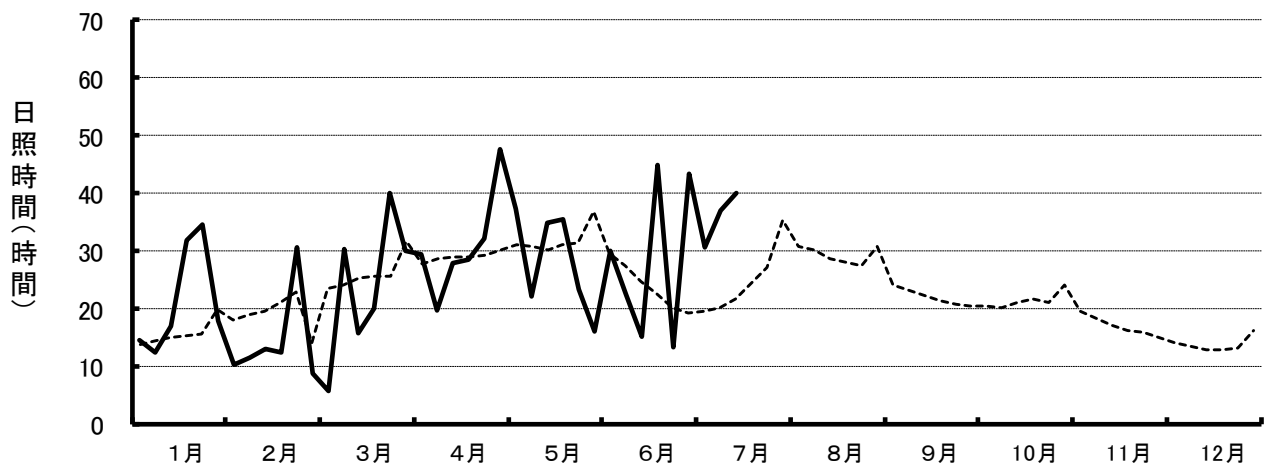


図3 本年度の半旬別日照時間の推移(高山市)